

令和7年 もっと安心農産物 春夏人参統一栽培暦

1. 土づくり
- 完熟堆肥または緑肥で土づくりを行う。土壌診断を実施し、適正施肥を心がける。
- ★堆肥 1,000kg/10a 以上 緑肥 2,000kg/10a 以上

2. 施肥
- 化学窒素 10kg 以下

	肥料名		施肥量 (kg)	10a 当たりの成分施用量		
				窒素	リン酸	加里
基肥 1～3 から選択	1	ゆうき日和 (10-8-4) 有 N48%	180 以下	18 (化 N9.36)	16	8
	2	人参ブリケット 688 (6-8-8) ペレット 有 N26%	220 以下	13.2 (化 N9.76)	17.6	17.6
	3	ヘルシーパワーLP 入り (8-8-8) 有 N31%	180 以下	14.4 (化 N9.9)	14.4	14.4
土壌改良資材	くみあい総合微量要素 FTE (4kg/10a) . 苦土重焼燐. 硫マグ. 硫酸カリ. 油かす					
	苦土石灰. 畑のカルシウム (土壌診断による適量施用) . レオグリーン特号					

3. 防除
- 化学合成農薬 **8 成分回数以下**

★みんなで守ろう生産基準★

管 理 作 業	分 類	薬 剤 名		成分 カウ ント	希 釈 倍 数	10a あたりの 使用量	使用時期	回数	対象病虫害	備 考	
土 壌 消 毒	選 択	D-D		1	-	15～20ℓ	播種 10～15 日 前	1	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫	しみ腐病回避の為 水はけのよい圃場 づくりを行う。	
		テロン		1							
		ディトラベックス油剤		2	-	20～30ℓ	播種 21 日前	1	センチュウ類	線虫の発生が多い場合 は線虫対抗作物を 作付けする。	
						30～40ℓ			しみ腐病 (糸状菌全般) 1年生雑草		
播 種	虫	フォース粒剤		1	-	4 kg	播種時	1	ネキリムシ類	土壌消毒実施 圃場では不要。	
		選 択	ネマキック粒剤		1	-	10～15 kg	播種前	1	ネグサレセンチュウ	均一に散布し、丁寧に 土壌に混和する。
							15 kg（全面）			ネコブセンチュウ	
			ネマトリンエース粒剤		1	-	20kg（全面）		1	ネグサレセンチュウ	
							20kg（全面）			ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	
	ビーラム粒剤		1	-	20kg（全面）	1					
	菌	リゾレックス粉剤		1	-	20～40 kg	播種前	1	根腐病 リゾクトニア菌のみ		
		ユニフォーム粒剤		2	-	9～18 kg	播種前	1	しみ腐病 ピシウム菌のみ	2 成分使用	
	草	選 択	ゴ-ゴ-サン乳剤		1	-	200～400mℓ	播種後出芽前	1	畑地 一年生 雑草	重複散布は行わない 〔粒剤より乳剤の 方が効果安定。〕
			トレファノサイト® 乳剤		1		200～300mℓ	播種直後	1		
			ゴ-ゴ-サン細粒剤 F		1	-	4～5 kg	播種後出芽前	1		
			トレファノサイト® 粒剤 2.5		1		4～6 kg	播種直後	1		
被 覆 除 去 後	虫	モスピラン顆粒水溶剤		1	1000 倍	100～300ℓ	収穫前日	3	キアゲハ アブラムシ類		
		ゼンターリ顆粒水和剤		0	1000 倍	100～300ℓ	収穫前日	—	ヨトウムシ	ハネオレバエ対策にも 効果がある。	
		ベネビア OD		1	4000 倍	100～300ℓ	収穫前日	3			
		コテツフロアブル		1	2000 倍	100～300ℓ	収穫前日	2	ヒョウタンゾウムシ類 ハスモンヨトウ	かけ残しのないよう 丁寧に散布を行う。	
		アケセルフロアブル		1	1000 倍	100～300ℓ	収穫前日	3			
	菌	アミスターオプティフロアブル		2	1000 倍	100～400ℓ	収穫 21 日前	2	しみ腐病 黒葉枯病	2 成分使用	
		アフェットフロアブル		1	2000 倍	100～300ℓ	収穫 7 日前	3	黒葉枯病	うどんこ病や白絹病に 対して対策もかねる。	
		Zボルトー		0	500 倍	100～300ℓ	—	—		黒葉枯病は発病前に 防除を行う。	
		ホリオリキン AL 水和剤		0	500 倍	100～300ℓ	収穫 7 日前	5			